SHEARMAN & STERLING

プレス・リリース

ワシントン DC オフィスに 5 名のパートナーが参加したことにより、
シャーマン アンド スターリングの独占禁止法・訴訟分野がさらに強固なものへ

シャーマン アンド スターリングは、ワシントン DC オフィスに 5 名のパートナーを迎え、独占禁止法・訴訟分野をさらに強化した。今回シャーマンアンドスターリングが Hunton & Williams から迎え入れたのは、David A. Higbee、 D. Bruce Hoffman、 Djordje Petkoski、 Ryan Shores 及び Todd M. Stenerson からなるチームである。

シャーマン アンド スターリングのシニア・パートナーである Creighton Condon は、「新しいパートナーを迎えることを大変うれしく思う。」と述べた。「David、Bruce、Djordje、Ryan と Todd が我々の既存のチームに加わることにより、当事務所のクライアントに対して、世界規模の合併事前審査、調査事案、訴訟、助言サービスなどのあらゆる方面において、より深く統合されたグローバルな独占禁止法チームからの助言を提供していける。」と Condon は語る。

シャーマン アンド スターリングのグローバル・マネージング・パートナーである David Beveridge は、「我々の新しいパートナー達はワシントン DC における当事務所のプレゼンスを高め、石油・ガス、保険、テクノロジー、メディアなどの業界でクライアント層を広げ、当事務所の M&A と訴訟サービスを向上させる。それらは全て当事務所の戦略に完全に沿うものだ。」と付け加えた。

「豊富な政府での経験と業界での専門性をもたらす新しいパートナー達と当事務所の既存の独占禁止法訴訟・調査の強みを合わせれば、米国の独占禁止法訴訟、カルテル調査、合併審査、その他幅広い商事紛争において当事務所のクライアントの最大の利害問題を代理する素晴らしいチームが形成される。」とシャーマン アンド スターリングの訴訟部門のグローバル代表である Adam Hakki は語る。

「独占禁止法規制は企業にとって最もチャレンジングで重要なビジネス上の問題を提起している。」とシャーマン アンド スターリングの独占禁止法グループのグローバル共同代表の Matthew Readings は言う。Readings はまた、「新チームの素晴らしい経験は当事務所のグローバル独占禁止法グループの土台を強化し、アメリカとヨーロッパにおいて業界トップレベルのワン・ストップサービスの提供を可能にする。」と述べている。

David A. Higbee

Higbee は Hunton & Williams のグローバル競争法部門の副部門長とワシントン DC オフィスのマネージング・パートナーの経験を持ち、独占禁止法の政府及び企業内調査、合併審査、複雑な訴訟案件を専門とし、国防、石油・ガス、金融サービス、テクノロジーを含む様々な業界の企業を代理してきた。Higbee は司法省で司法長官次席補佐官及び独占禁止法局でチーフ・オブ・スタッフを務め、最近の政権交代において独占禁止法局の移行計画に中心的役割を果たした。

また George W. Bush の政権下のホワイトハウスにおいて大統領特別補佐及び大統領人事担当次席次長を務め、大統領による行政部門にわたる政府高官の任命に助言している。

D. Bruce Hoffman

Hoffman は M&A、調査、訴訟、連邦取引委員会の広告調査への助言を含めた独占禁止法と不正競争を専門とし、Hunton & Williams のグローバル競争法部門の代表を務めた。連邦取引委員会の副長官、競争局の地域訴訟担当次席次長を務めた。

連邦取引委員会では競争局の独占禁止法執行を監督し、様々な業界におけるいくつもの有名な M&A、価格操作、独占行為、共謀その他の案件を率いた。また、米国最高裁判所のアミカス・クリエ意見書（第三者意見）に参加したこともある。Hoffman の弁護士としての業務としては、有名な M&A や独占禁止法訴訟を含む。連邦・州レベルの独占禁止法当局と広範囲において対応した経験を持ち、上訴、陪審裁判、非陪審審理、その他多くの裁判所議論において主席弁護士を務めた。Hoffman は独占禁止法案件に関し頻繁に講演を行っている。

Djordje Petkoski

Djordje Petkoski は競争法分野で幅広い経験を持ち、独占禁止法刑事案件と国際的なクライアント、特に日本のクライアントの関わる案件に造詣が深い。重要な企業クライアントの主任弁護士を含め、司法省及びその他の国・地域の当局のカルテル調査において多くの企業および個人を代理した経験を持つ。司法省調査に続いて提起される集団訴訟において企業クライアントの主任弁護士を務めたこともある。

Ryan Shores

大型訴訟を事実審・上訴いずれのレベルにおいても専門とする Ryan Shores は、価格操作、市場分割、抱き合わせ、独占行為その他独占禁止法違反訴訟において石油・ガス、金融サービス、航空宇宙、建材を含む様々な業界の大企業を代理してきた。多州間詐欺、不正競争、契約違反、その他同様な複雑な商業案件においても弁護団において中心的役割を果たした経験がある。

Shores は *Benchmark* と *Law360* などにおいて評価されており、米国最高裁判所の裁判長である William H. Rehnquist のロークラークとして勤めた経験を持つ。

Todd M. Stenerson

Todd Stenerson は米国中の裁判所において非常に豊富な商業訴訟と集団訴訟の経験を持つ熟練した訴訟パートナーである。原告・被告の両方を代理した経験を持ち、何十年にもわたってクライアントの非常に重要な案件で主導的役割を担ってきた。独占禁止法、多くの管轄地に跨る訴訟及び仲裁の幅広い経験に加え、司法省独占禁止法局と米国証券取引委員会による調査対応の経験も持つ。

Stenerson の幅広く複雑な商業訴訟の経験の一例として、販売代理店終了、RICO 法案件、事業活動上の不法行為、商用リース、契約違反、ERISA 法案件を担当した経験が挙げられる。Stenerson は、*Martindale-Hubbell* にて AV レベルを獲得し、*BTI* Client Service All-Star に選ばれており、その創造性、訴訟技能、クライアントサービスへのコミットメントにおいて、クライアントや同僚から高い評価を受けている。

*　　*　　*

シャーマン アンド スターリング　グローバル独占禁止法グループについて

シャーマン アンド スターリングの業界でトップクラスの独占禁止法グループは米国・EU の独占禁止法のあらゆる側面に関して、最大規模の案件の幾つかに対し助言している。これらは合併規制、カルテル、コンプライアンス、単独行為、市場調査、国庫補助、独占禁止法訴訟を含む。

シャーマン アンド スターリングのグローバル独占禁止法グループは、世界のトップクラスの独占禁止法プラクティスに関して年に一度行われる評価分析である、*Global Competition Review* の GCR 100 の 2017 年度版において 25 の「Global Elite」のうちの一つに選ばれた。当事務所の独占禁止法弁護士

の何名かは 200 以上の管轄地における世界のトップ弁護士のリストである *Who's Who Legal* に選出されている。

シャーマン アンド スターリング　グローバル訴訟グループについて

シャーマン アンド スターリングのグローバル訴訟グループは今日のクライアントが直面する厳しい環境で代理・弁護を行う強固な体制を擁している。アメリカ、ヨーロッパ、アジアに所属する 130 名以上の弁護士からなる当事務所のチームは、相手方が政府当局、競合会社、資金豊富な集団訴訟代理弁護士であるかどうかに関わらず、あらゆる危機において支援することが出来る。

プレス窓口

Jacinta O'Shea-Ramdeholl
シャーマン アンド スターリング　ヨーロッパ・コミュニケーション・マネージャー
直通 +44 20 7655 5144
jacinta.o'shea-ramdeholl@shearman.com